

1. しまねの食育推進計画の基本的考え方

1. 計画策定の趣旨

「国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための食育を推進すること」を目的として、平成17年6月に食育基本法が制定され、国においては、同法に基づき、令和3年度からは、「第4次食育推進基本計画」を策定し、多様な関係者とともに食育を国民運動として推進していくこととしています。

一方、本県では、食育基本法第17条に基づく都道府県計画として、平成18年度末に「島根県食育推進計画（第一次計画）」、平成23年度末に「島根県食育推進計画（第二次計画）」、平成28年度末に「島根県食育推進計画（第三次計画）」を策定し、「家庭」「保育所・学校等」「地域」における食育を島根の地域力を生かした県民運動として、16年にわたり食育の取組を推進してきました。

これまでの取り組みの成果や達成度、国の食育推進基本計画の改定、食をめぐる現状や課題を踏まえ、本県らしい食育の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針として、新たに「島根県食育推進計画（第四次計画）」を策定します。

2. 基本理念

県民一人一人が「食べる知恵」¹⁾を身につけ、食への「感謝の心」を養い、生涯にわたって心身の健康増進と豊かな人間形成を目指すことができるよう、食育をとおして「生きる力」を育みます。

家庭、学校、幼稚園、保育所、地域等が連携し、「地域力」（地域全体で島根を支える力）を十分に生かした食育を進め、県民一人一人の実践を促します。

《キーワード》

『おいしい たのしい ためになる しまねの食育』 『地域力』

この理念のもと、以下に掲げる事項を重点施策として計画の推進を図ります。

- 生涯にわたる心身の健康を支える食育を推進し、特に若い世代（高校生、大学生、子育て中の親世代を含む20～30歳代）への食育の推進
- 県民の身近なところで、食に関する「おいしい・たのしい・ためになる」体験の場づくりの推進と県民の主体的な参加の促進
- 関係団体の連携・協力による地域力を生かした多様な暮らしに対応し、環境に配慮した食育の推進

3. 計画の位置づけ

食育基本法第17条に基づく都道府県計画として位置づけます。

また、家庭、学校、幼稚園、保育所、地域等様々な分野における関係機関・団体等の食育推進活動の共通指針として活用します。

関連計画として、「健康長寿しまね推進計画（島根県健康増進計画）」、「健やか親子しまね

計画」、「しまねっ子すくすくプラン」、「しまねっ子元気プラン」、「すこやかしまねっこ（食に関する指導の指針）」、「島根県歯と口腔の健康づくり計画」、「島根県農林水産基本計画」、「島根県環境総合計画」、「島根県消費者基本計画」、「食の安全安心確保に係るアクションプラン」、「島根県子どものセーフティネット推進計画」等多岐にわたる計画があります。本計画は、これらの計画と整合性を図り、取組の方向性や目標を共有し、一体となって推進していきます。

4. 計画期間

令和5(2023)年度から令和10(2028)年度の6年間とします。
(島根県保健医療計画改定の前年度までの計画とする)

5. 食育の総合的な推進イメージ

～しまねの豊かな自然環境、地域の関係機関・団体の連携した「食育」の推進～

基本理念

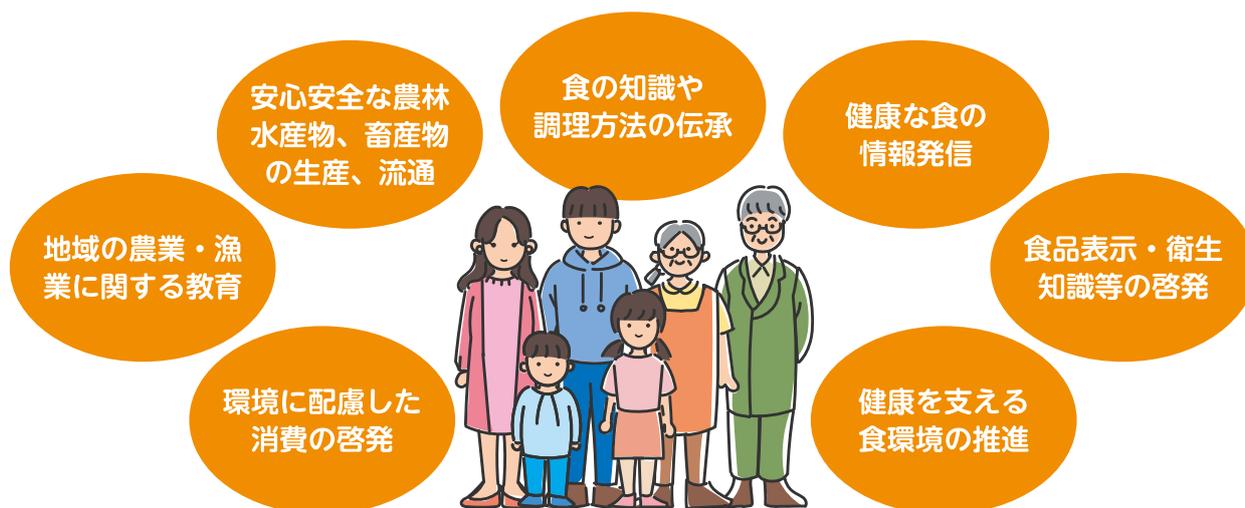
県民一人一人が「食べる知恵」を身につけ、食への「感謝の心」を養い、生涯にわたって心身の健康増進と豊かな人間形成を目指すことができるよう、食育をととして、「**生きる力**」を育みます。

重点施策

生涯にわたる**心身の健康を支える食育**を推進し、**特に若い世代**（高校生、大学生、子育て中の親世代を含む20～30歳代）への食育の推進

県民の身近なところで、食に関する「おいしい・たのしい・ためになる」**体験の場づくり**の推進と県民の主体的な参加の促進

関係団体の連携・協力による地域力を生かした**多様な暮らしに対応**し、環境に配慮した食育の推進



地域力（多様な関係機関・団体の連携と協力）

保育、教育機関、PTA、公民館、地区組織、食のボランティア、婦人会
農林漁業者、加工業者、スーパー、飲食店、マスメディア、行政 等

(県)食育・食の安全推進協議会 (圏域)食育ネットワーク会議 (市町村)食育推進会議

6. 県民一人一人の実践に向けて

鳥根県の食育の取組のキーワードは「おいしい たのしい ためになる」です。
次の取組を一人一人できることから取り組みましょう。

お おいしい食事、ゆっくりかんで味わいましょう

い いろいろな食品を組み合わせせて食べましょう

し しまねの美味しい食材を知り、選びましょう

い いっぱい野菜を食べて、塩分はひかえましょう

た 楽しく食卓を囲もう 家族や仲間とともに

の 伸ばそう 育もう 子どもの頃から食事を作る・食べる・選ぶ力

し 食事のときは「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしよう

い いきいきとした1日の始まりは 朝ごはんから

た 食べ残し 作りすぎなど食べ物の「もったいない」を意識しよう

め メディアを活用して食の知識を身につけよう

に 日本の食文化を大切に地域や家庭の料理や作法を伝えよう

な 仲間や家族で食事づくり、野菜づくりなどの体験活動に参加しよう

る ルールある食品表示を参考に食材選びに役立てよう

